

5月のコラム ～ほんの少し過去に戻れるとしたら？～

過去に戻りたいと思ったことはありますか？

誰しも、あの時あれがなかったらとか、こうしておけば・・・ということはあると思いますが、戻ったとしても結果は何も変わらない。場所は移動できない。それも戻れるのは、コーヒーが冷めないわずかな時間だけ。そんなルールの元で過去に戻れるとしたら？

そんな映画を見ました（もちろんお家で）。いくつかのエピソードから成り立っており、わかりやすい話を紹介します。過去に戻れるというその喫茶店でケンカ別れし、彼氏は、そのまま海外へ。彼女は、その時点に戻り言いたいことを言います。そこで彼の本音がわかり・・・現在へ戻ってきた彼女は、彼の住むニューヨークへ向かいます。過去は変えられないけど、未来は変えられると知って。

妻が認知症の初老（とはいっても妻は薬師丸ひろ子さん）の夫婦。夫は、自分を忘れてしまった妻に対し、自分の資格を活かして看護師として接します。でも過去に戻った夫は、「私が、もし、貴方のことがわからなくなったらきっと優しい貴方は看護師として頑張ってくれるだろうけど、しんどくなったら離れてくれていい。でも妻でいたい」と書かれた手紙を受け取ります。現在に戻った夫は、夫婦として過ごすことにします。本ストーリーは、別にあるのですが、ネタバレはここまでにして・・・

世間にも良くありますよね。捨てられたとか裏切られたとか思い込んで恨んでいたけれど、真実を知って関係が修復できたというお話。でもなかなか真実を知ることは難しい。だから、過去に戻って確認できたら、今からでもやり直せることってあると思うのですが・・・

心がけていても、いつも広い視野で多角的に考えるなんてなかなかできないし、身近な人であればあるほど、わかっているという思いやこうあって欲しいという願望が強くなるせいか、客観的になることは難しいものだと思います。

若いうちは、未熟さからの偏った見方から、年齢を重ねれば、経験からくる自分の正解、自分の正義が蓄積され思い込みが増えるものです。

外出の時間が減りました。この機会に自分で過去に戻れるコーヒーを入れて、あれはどうだったのかな？と「人はいつも最善を選択している」そんなグランドルールを前提に思い出してみるのはいかがでしょうか？

最近上手くいっていないなと思う相手。部下や上司、家族に新しい発見があるかもしれません。

2021年5月 水田かほる

*取り上げた映画：「コーヒーが冷めないうちに」2018年公開

